

「令和 7 年度省エネ住宅の普及拡大に向けた課題分析・解決手法に係る調査検討事業委託業務」の入札説明書に関する質問回答

令和 7 年 3 月 11 日
環境省地球環境局
地球温暖化対策課
地球温暖化対策事業室

No.	質問事項	回答	備考
1	<p>【質問①】ポータルサイトの保守運用に関して 仕様書 3(3)省エネ住宅等の更なる普及に係る課題の調査及び解決策の検討並びに広報の実施 ロ ポータルサイトの運営・保守及び地方公共団体による脱炭素に資する住宅支援策の情報収集等に関して、以下 1～3 をご教示願います。</p> <p>なお、1, 2 に関して、クラウド提供者やソフトウェアベンダーへの支払費用に関連するため確認させていただきたい。</p> <p>1 システム構成 (ア) 主要なサーバーの構成（台数）、サーバーの仕様（CPU 数、メモリ量、ストレージ量）</p> <p>2 ソフトウェア構成 (ア) 主要なソフトウェア（名称、バージョン、ライセンス有無）</p> <p>3 運用業務 (ア) 月次報告の有無、有りの場合その報告内容 (イ) 想定しているコンテンツ変更量（ページ/月）</p>	<p>基本的には①住宅脱炭素 NAVI の更新と地方公共団体の補助制度を集めるための②省エネ住宅補助情報入力システムの運用を想定しています。</p> <p>【システム構成・ソフトウェア構成に関して】</p> <p>① 住宅脱炭素 NAVI について (URL : https://policies.env.go.jp/earth/zeh/) 受託者に HP を作成いただき、納品されたデータを環境省のサーバーにアップします。そのため HP の更新に関する提案をしていただければと思います。</p> <p>② 省エネ住宅補助情報入力システムについて R6 年度の委託業務では地方自治体の補助制度情報を収集するため受託者が入力フォーム形式の WEB ページを設け、その情報を住宅脱炭素 NAVI に掲載しています。入力フォーム形式の WEB ページは特別なソフトは使っておらず一般的なシステムを使って作成しております。ただし、R7 年度の委託業務については、既存システムの利用を必須としていません。目的をより効率よく達成できるシステムを提案して作成していただければ問題ありません。</p>	

No.	質問事項	回答	備考
		<p>【運用業務に関して】</p> <p>基本的には他の業務内容と併せて必要に応じて報告していただく形となります。コンテンツの変更内容に関しては、現在の住宅脱炭素 NAVI をご確認くださいご提案下さい。</p>	
2	<p>【質問②】 ヒアリング想定について</p> <p>仕様書 3 業務の内容<留意事項>に「(1)～(3)の業務の実施にあたっては必要に応じてヒアリング(6回程度、1回につき1時間程度を想定)を実施し専門的な知見を得ること。」とあるが、(1)～(3)の業務全体で合計6件程度を想定されているという理解で良いか。また、戸建/集合、注文/建売、新築/改修、買取再販、地域別など実態を把握するため網羅的にヒアリングするには、計6件では足りないと考えられるが、本事業年度において特に優先的にヒアリングしたい項目やヒアリング先の想定(どのような属性の事業者か)があれば教えていただきたい。</p>	<p>6回のヒアリングは謝金が発生する有識者へのヒアリングを想定しています。謝金が発生しないヒアリングは、必要に応じて実施いただいて構いません。また、目的達成のための手段は事業者によって異なると考えますので、必要に応じて適宜提案いただければ問題ありません。</p>	
3	<p>【質問③】 部分断熱の検討範囲について</p> <p>3(2)補助事業の在り方に関する検討②「既存住宅の断熱リフォーム支援事業についてCO2削減効果等の試算を行うこと。」とあるが、</p> <p>部分断熱の検討範囲に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象設備は、窓及び玄関ドアの2つのみでよろしいでしょうか。 ・対象建築物は、戸建及び集合でしょうか。(集合の対象は中高層のみでよろしいでしょうか。) ・対象地域：温暖地及び寒冷地で宜しいでしょうか。 	<p>検討範囲としてご質問いただいた内容が効果的であると考えられる場合は、その理由を踏まえた提案書を作成頂ければと思います。</p>	